

報道関係者各位



2024年4月15日
タケヤ化学工業株式会社

TAKEYA が「脱炭素エキデン 365」に参画を決定 ～大阪・関西万博開幕の EXPO グリーンチャレンジへの貢献を目指して～

生活用品メーカー タケヤ化学工業株式会社(大阪府羽曳野市、代表取締役 竹谷 弘 [たけたに ひろし]) は、昨年 12 月 19 日より株式会社スタジオスポビー (東京都中央区 代表取締役 夏目恭行、以下スタジオスポビー) と大阪府が事業連携協定を締結し発足した「脱炭素エキデン 365」プロジェクトに、4 月 14 日より参画することを表明いたします。

■「脱炭素エキデン 365」プロジェクトについて



本プロジェクトは、参加する民間企業数百社・総勢 10 万人強の従業員と市民数十万人が、2025 年に開催される大阪・関西万博開幕までの一年間、様々な環境アクションを実践して CO2 排出抑制に取り組み、その脱炭素活動のスコアを見える化することで EXPO グリーンチャレンジへの貢献を目指すプロジェクトです。官民が力を合わせて「脱炭素社会」の実現を目指し、具体的なアクションによる行動変容を推進し、未来の子どもたちにタスキをつないでいくことを目指して発足しました。

本プロジェクトでは、個人生活における脱炭素量を計測できるエコライフアプリ、「SPOBY (スポビー)」を活用して、脱炭素社会の実現に向けた行動変容を促します。例えば、通常乗り物に乗って移動すべきところを「ひと駅手前から歩いて出社」「商談に自転車で移動」など歩行や自転車で代替移動することをはじめ、マイボトル活用、リモートワーク、階段の上り下り、公共交通を活用した ECOMOVE など様々な環境アクションによる脱炭素量を見える化し、たまった脱炭素スコアはご褒美商品と交換することができます。

■タケヤ化学工業株式会社の参画表明コメント

当社は 1961 年創業の製造メーカーです。使い捨てのペットボトルによる環境問題に対して、当社では繰り返し使えるステンレスボトルを通じて、皆様に身近なことから取り組んでほしいと考えております。当社のロゴマークには私たちの環境に対する想いを込めて地球と波・海を表現しています。この度「脱炭素エキデン 365」の目的と当社の環境に対する想いが一致したことから、参画を決定しました。当社はこれからも従業員ひとりひとりが脱炭素アクションを実践し、クリーンな未来を創造してまいります。
(タケヤ化学工業株式会社 代表取締役 竹谷 弘)

プロジェクト名 : 脱炭素エキデン 365 (だつたんそえきでんさんろくご)
実施期間 : 2024 年 4 月 14 日～2025 年 4 月 13 日 (大阪・関西万博開幕)
運営本部 : 株式会社スタジオスポビー
参画企業 : 全国の民間企業数百家
実施要項 : 参加する民間企業の総勢 10 万人強の従業員の皆様に
エコライフアプリ「SPOBY (スポビー)」を使っていただき
365 日間で約数千トンの CO2 抑制を目指します
<https://deco-ekiden.jp>

【スタジオスポビーについて】

スタジオスポビーは、「人の行動変容を促進させ、社会課題を解決する」ビジョンにより設立したソーシャルカンパニーです。同社は 2022 年 5 月より脱炭素と健康を実現するアプリ「SPOBY (スポビー)」のサービス提供を開始しました。当該アプリは環境省・脱炭素先行地域および経済産業省「地域 DX 推進ラボ」自治体においても採用されています。

◆タケヤ化学工業株式会社について

TAKEYA は 1961 年創業のプラスチック製品メーカーです。現在では TAKEYA ブランドの飲料ボトルや食品密封容器、大手ブランドのゲームアクセサリー、乳幼児用製品、テーマパーク製品、食品・飲料容器などを日本、アメリカ、中国で製造し、世界各地へ出荷しています。TAKEYA で製造する商品は食品、飲料用途や子供向けの商品が多く、厳しい品質管理のもと、同じ品質の商品を世界中にお届け出来るよう日々努力しております。これからも各分野で革新的な魅力有る商品を開発し皆様に喜んで頂け、社会から信頼される企業を目指して参ります。 <https://cp.takeyajp.com/>



【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

タケヤ化学工業株式会社
森田 香織 (Kaori Morita)
〒583-0846 大阪府羽曳野市東阪田 75
TEL:072-956-6821 FAX:072-956-4972